

よ なか ふしぎ わ  
世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
かかく れきし とくわ せんせい と  
科学、歴史など、詳しい先生に解き  
あ  
明かしてもらいましょう。

し こう き しん  
**知り**たい**好奇心**



© 朝日新聞 / ポプラ社

# てんじょうがわ かまなしがわ みず 「天井川」の釜無川の水 ち か もぐ こう ふ ぼん ち 地下に潜り甲府盆地へ

自然の川でも、コンクリートで覆われた水路でも、水は同じように上流から下流へと流れています。しかしコンクリートで覆われた水路では、水はただ流れ下るだけなのに、自然の川では、水が地下に潜ったり、地下水が湧き出たりしています。扇状地を流れる甲府盆地内の川の水は、実はいろいろな所を通っているのです。

## 高い所を流れる

地下水が川に湧き出てくるのは、川が山から平地に移るあたりによく見られます。橋の上から川の流れをよく見てみましょう。周囲と違って、そこだけ川底に砂が多い場所が見つかったら、地下水が湧き上がってきている場所と考えることが出来ます。では川の水が地下に潜るのはど

んな所でしようか。

写真(上)は甲府盆地を流れる釜無川の信玄堤付近です。写真の少し上流の釜無川には竜王用水の取り入れ口があり、水が甲府盆地内に引き込まれています。竜王用水の写真を見ると、水が周囲の民家より高い所を流れていることが分かります。

この場所に行けば確認できますが、釜無川も民家の床より高い所を流れているのです。このような河川は「天井川」と呼ばれています。釜無川は上流の山を削って大量の土砂を甲府盆地に運び込んできたため、川の方が周囲の土地より「天井」のように高い所を流れるようになったのです。このような場所では、川の水は下流に流れるばかりではなく、地下にも潜ってより低い所へ流れるようになります。

## 暮らしに不可欠

甲府盆地の地下水も釜無川の水も、どちらも透明で見ただけでは同じ水かどうか分かりません。けれど、水に含まれているミネラル成分の種類や量を調べたり、特殊な機器を使って水の年代測定をしたりすることにより、甲府盆地の広い地域の地下水が、もとは釜無川の水であることが分かってきました。同じように、盆地内のほかの川でも、周囲の地下水を潤している川があります。地下水は私たちの飲み水になったり、工場で使用されたりと、山梨の産業や暮らしに欠かせないものです。私たちが盆地内の川から受けている恩恵は、とても大きいのです。(山梨大学総合研究部国際流域環境研究センター教授 風間ふたば)



信玄堤から見た釜無川



釜無川から取り入れられた直後の竜王用水